

9月7日（木）から10日（日）まで金ヶ崎町公式訪問団（小野寺正徳副町長、佐藤千幸副議長、高杉郁也観光協会会長、中央生涯教育センター高橋麻依子主事）が姉妹都市のドイツ ライネフェルデ・ヴォアビス市を訪問しました。今回の訪問では、マルコ・グロサ市長からご招待を受け、キルヒオームフェルド地区の800年祭へ参加した他、市内外たくさんの施設等を見学しました。

4月に来町されたベルント・エーブレヒトさんのビール醸造所（ノインシュプリング醸造所）やアンドレアス・エバートさんのスポーツ・水泳施設では、全て市や施設でご準備くださった日本の桜を植樹し、両市町の友好がさらに深まりました。

キルヒオームフェルド800年祭では、ミサへ参加した後、戦没者追悼碑へ献花を行いました。夜は屋外テントの中で公爵の歴史のお話や子ども達のダンス、功労者表彰等が行われました。また、キルヒオームフェルド地区は「野バラ」の作曲者ヴェルナー生誕の地であり、町訪問団は感謝の意をこめて日本語で「野バラ」を披露しました。翌日、スーパーで「昨日の野バラはよかった」と声をかけられ、大変好評だったようです。

この他にもシャルフェンシュタイン城（1209年～）や強制労働収容所（第二次世界大戦時代）、農場等を見学いたしました。マルコ・グロサ市長をはじめ、市職員の皆さまから手厚い歓迎を受け、大変有意義な訪問となりました。



スポーツ施設 記念植樹前



キルヒオームフェルド 800 年祭



ノインシュプリング醸造所



農場見学の様子